

# 隣保館だより

編集 下榎隣保館  
〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1  
電話：72-1191 (FAX 兼)  
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp

〈研修会参加報告〉

「鳥取県隣保館連絡協議会 第1回職員研修会」に参加して

下榎隣保館長 田貝嘉彦

7月21日、倉吉市人権文化センターで、鳥取県隣保館連絡協議会職員研修会が開催されました。

【研修①】

演題：「隣保館の役割と業務の理解 隣保事業と社会調査・実態把握について」

講師：長池 真由美さん（鳥取県人権局人権・同和対策課 課長補佐）

令和元年度に実施した「隣保館を通じた地域課題把握調査」の内容について検証しました。

県内の隣保館が受けた相談件数は約6000件で、生活相談が半数以上、部落差別事象を含む人権に関する相談は13%でした。年金額が少なく、生活困窮状態になっている高齢者のみの世帯は約2割。また、住民の生活実態や地域の課題を把握できていない隣保館もあり、伴走型支援が課題把握に必要であることが見えてきました。

そのほかにも、外出の機会がほとんどなく、家にこもりがちで社会的に孤立した世帯があるなど、地域課題は多岐にわたり



ます。関係機関と協力して、課題解決に向かう必要があることに改めて気付かされました。

【研修②】

演題：「地域共生社会実現と隣保館の役割」  
講師：竹川 俊夫さん（鳥取大学地域学部）

住民が主体的に地域課題を把握し、関係機関と連携して「地域生活課題」を解決しなければならぬ時代となっています。専門的な支援が必要な場合は、公的な支援も受け、包括的な支援が提供されなければなりません。

全国的にみると、孤独死・児童虐待・老老介護の問題・中高

年のひきこもりなど、地域の課題として、みんな考えていかなければ解決できないことが見えてきます。

隣保館の重要な機能は、相談業務を充実し、地域が抱えている困りごとの把握に努めていくことです。地域の中に入り人間関係を構築しながら、潜在化する住民の生活課題（SOS）を受け止め、伴走する形で支援することが求められています。

研修会に参加して、福祉行政機関など関連機関と連携しながら地域を支えていき、関係機関につなげるだけでなく、その問題にかかわっていくことが大切だと感じました。



## 『第43回日野町解放文化祭』開催中止のお知らせ

11月頃に開催を予定していましたが日野町解放文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、皆さんの健康と安全を考慮し開催を中止します。

毎年多くの関係者の皆様のご協力によって開催し、今年で43回を数える歴史のある文化祭ではありますが、次年度の開催に向けて関係者一同取り組んでいきたいと思っております。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 農業委員会だより No.82

## 日野郡農業委員会女性委員研修交流会の開催

7月31日(金)、日南町阿毘縁で、令和2年度第1回目の「日野郡農業委員会女性委員研修交流会」が開催されました。今回はハウス9棟(2,130㎡)でサルビア、パンジーなどの花壇苗やピーマン苗などを栽培する足立進也さん、知美さん夫婦の栽培施設の視察研修を行いました。

足立さんは平成13年から日南町で就農後、夫婦で苗づくりを始めました。就農当初は、パイプハウス4棟990㎡で花苗経営をスタートし、とっとり花回廊と契約栽培を開始。ピーマン、ブロッコリー、トマトなどの苗も手掛けています。平成25年には、とっとり花回廊で開催された第64回全国植樹祭でチューリップ「とっとり」の栽培管理を行い、式典会場の飾花に大きく貢献しました。



▲苗の管理方法や、栽培についての説明を行う足立進也さん(写真右)



▲栽培されている苗の様子。日ごろの管理のたまものです。

足立さんは今に至るまでの苦労話や失敗談を話し、参加者からは、就農を始めたきっかけ、規模拡大などの質問が飛び交いました。現地研修の後には、日野郡3町の農業委員会の取り組みや女性委員だからできることなどについて活発な意見交換が行われ、具体的な取り組みを進めていこうと一致団結し、研修を終えました。

## 農地パトロールを行います

農業委員会では、8月～11月までを「農地パトロール強化月間」として、農業委員や農地利用最適化推進委員が農地の状況や違反転用の有無を調査します。今回の農地パトロールでは、被害箇所の状況も併せて確認したいと考えています。期間中、委員が皆さんの農地に入ったり質問をしたりすることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 農作業中の熱中症に注意しましょう

強い日差しが照り付け、気温が高くなると、農作業中の熱中症事故が増加します。特に新型コロナウイルス対策で、マスクを着用して農作業をする場合は注意が必要です。次の5つのポイントに注意して、熱中症を防ぎましょう。



- ①屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合は、マスクをはずしましょう
- ②気温・湿度の高い環境を避けて作業をしましょう
- ③作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう
- ④熱中症グッズを活用しましょう
- ⑤一人での作業は避けましょう